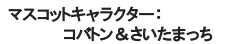


「全国健康福祉祭」、愛称「ねんりんピック」は60歳以上の方々を中心とするスポーツ、文化、芸術、健康と福祉の総合的な祭典だ。「ふれあいと活気のある長寿社会の形成」を目標に、1988年から都道府県持ち回りで開催されている。今大会ではソフトテニスやサッカーをはじめ、将棋や健康マージャンなど、全30種目が埼玉県内24市町で行われる。

また、誰でも楽しむことができるニュースポーツやeスポーツ体験、シールラリーなども同時に行われる。

マスコットキャラクター：
コバマン & さいたまっち



(鈴木・出井)

大野元裕埼玉県知事は 荒木裕介埼玉県議会議
「誰一人取り残さない、 長は「音楽によって多く

全ての世代が楽しめるようなイベントにするのが目標です。ねんりんピックの主な対象は60代以上です。しかし、音楽や文化などを通じて、若い世代や障害の有無に関係なく、誰もが楽しめるようにしていきたいです」と語った。さらに「県民全体でのおもてなしを期待しています。埼玉県での開催は初めてとなります。そのため、職員だけでなく県民全体がワンチームとなり、約一万人の選手や観光客をおもてなししたいと思っています。また、多彩な魅力も全国に向けて発信したいです」と開催への意気込みを見せた。

の人にねんりんピックを知ってほしいです。音楽を通じて絆を深め、地域のコミュニティの活性化や観光振興なども進めていきたいと思っています。また、市民が誇りを持てるような地域づくりをしていきたいです」と意欲を示した。また、「行政や商店街、ボランティアなど多様な地域関係者が一丸となり、安全で円滑な運営体制をつくることを大事にしてほしいです。さらに、ワークシヨップなどを通じて、異なる世代が同じ場所での感動を分かち合い、交流できる機会が増えればいいなと思います」と期待を寄せた。

「ねんりんピックは60歳以上の方を中心とする大会ですが、どの世代の方でも楽しめるようにすることが目標です」とねんりんピック開催に向けた企画を考案している。

です」。そう話すのは埼玉県ねりんピック推進課長の小松素明さん。小松さんは「若い方の多くはねりんピックで演奏と合唱を行うと

スポーツは多くの

人々を熱狂させる。ルールに則り、世界の人々が公平、公正な立場で戦うフェアプレーが求められる。そこに政治介入などがあれば、その時点で公平ではなくなり、これまでのスポーツは崩壊してしまう。

今年の夏に開催されたサッカー・ワールド

▼埼玉栄高校空手道部

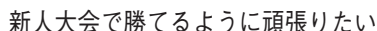
屋外で演武を行った岡大翔さん、磯邊颯さんの2人は「一般の方の前や、屋外で演武を行う機会はない経験でした」と話した。演武で披露する技は練習を重ねてきたため自信があつたが、会場の様子を見て緊張が増したとい

公平・公正だ
と心から

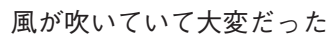
ランプ大統領はFIFA 猶予期間を与えることに会長が発言したように（国際サッカー連盟）会した。「決定を下したのはFIFAの独立した機関」でFIFAの独立した機関であったのならば、「どこかでの不正が起きているの」は思わなかった」と処分員会」という独立した司

発行

▼本庄東高校書道部



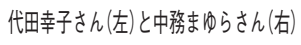
した。



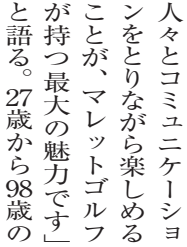
スポー

又才之通二、行女

彩
代田



ねんりんピックを
知っていましたか？



人々とコミュニケーションをとりながら楽しめることが、マレットゴルフが持つ最大の魅力です」と語る。27歳から98歳の

こそは決める』と、プレイしているうちにやみつきになっていく競技が「インディアカです」と笑顔で話した。しかし、マ

力を尽くしている。その真摯な姿を肌で感じ、私も高校生記者として記事を書いて盛り上げていきたい。

▼マレットゴルフ体験
川越市マレットゴルフ
連盟の会長である穂積茂
さんはマレットゴルフに
ついて「幅広い年齢の
人。一度失敗しても『次
は4人の仲間とプレイす
る楽しさだと思います』
と語るのは中務まゆらさ
んが大会の成功を願い、全
競技者、高校生など立場